

平成23年  
3月号

# 西綾瀬だより

西綾瀬  
在宅サービスセンター  
社会福祉法人  
愛寿会

## 《介護教室・介護予防教室のおしらせ》

### 介護予防教室

#### ① みんなで一緒に健康体操

～自宅で出来る簡単な体操～

日時：3月5日(土)13:30～14:30

場所：西綾瀬在宅サービスセンター  
          デイルーム

講師：地域包括支援センター西綾瀬  
          看護師 奈良 春美

#### ② 認知症サポーター養成講座

日時：3月12日(土)13:30～15:00

場所：西綾瀬在宅サービスセンター  
          デイルーム

講師：地域包括支援センター西綾瀬  
          主任介護支援専門員 曾根 久之

いずれも参加費は無料です。

#### ◎参加のお申込みは…

地域包括支援センター西綾瀬

Tel 5681-7650 まで

先日、東京では今年初めて雪が積もり、一面銀世界になりましたね。冬に雪が少ないと、夏の水不足に影響があるそうです。寒い冬があつてこそ、春の暖かさがありがたく感じられます。センターの玄関には、例年通りお雛様を飾りました。久しぶりのお目見えで恥ずかしそうです。また、今年の桜の開花日は、いつ頃になるでしょうか。お花見が楽しみです。



### ひとコラム 雛祭りについて

【時期について】  
元来、和暦の3月3日(現在の4月頃)に行われていましたが、明治6年の改暦により新暦の3月3日に行うようになりました。しかし今でも一部の地域では、引きつづき旧暦の3月3日か新暦の4月3日におこなっています。  
(主に寒冷地)

【なぜ祝日ではないの?】  
江戸時代、雛祭りは五節句の一つとして、祝日として位置付けられていましたが、新暦の採用により祝日廃止となりました。このころは「国民の祝日」よりも「皇室の祝日」という考えが強かったからだと思います。戦後見直しがあり、3月3日を祝日とする案も出ましたが、最終的には5月5日がこどもの日として制定されました。これは寒冷地の気候条件を考慮し、温暖な時期である5月を選んだ、というのが大きな理由のひとつであるといわれています。



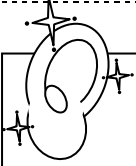
豆まきで  
みんなと笑い  
福を呼ぶ

## 今月のお誕生者

- |            |             |             |             |             |             |              |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 遠田 光様 九十二歳 | 荒井 タミ様 八十八歳 | 矢吹 きみ様 八十八歳 | 竹田 菊江様 八十八歳 | 三田 ハル様 八十六歳 | 谷田 蓉子様 八十六歳 | 塩田 寿美子様 八十五歳 |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|

- |             |              |            |             |             |            |
|-------------|--------------|------------|-------------|-------------|------------|
| 押野 トメ様 八十三歳 | 阿部 實津榮様 八十二歳 | 秋山 義隆様 八十歳 | 堤 榮美子様 七十九歳 | 沼岡 典子様 七十九歳 | 青木 洋様 七十八歳 |
|-------------|--------------|------------|-------------|-------------|------------|

おめでとうございます!



**3月3日は  
耳の日です!**  
日頃、皆さんは耳のお手入れをしていますか。意外と掃除をしていない人が多いです。清潔にしないと、聴こえに影響します。耳垢が固くて取りづらい時は耳鼻科に行きましょう。

2月1日・2日・3日の三日間、センター恒例の節分会が行われました。鬼退治の武者役にはセンター長、鬼は職員が扮し(一体誰だかわかりましたか?)、「鬼は外、福は内」の元気な掛け声で豆まきをして、みなさんで一年の無病息災を願いました。

